令和４年度　事業実施報告書

実施経過　（自：令和４年４月１日～至：令和５年３月 31 日）

Ⅰ　法人運営の基盤強化

1　社協組織の強化

（１）実施事業の報告と啓蒙

（２）各種研修会等への積極的な参加、資格取得の推進

鈴木葉子　社会福祉士取得

（３）理事会・評議員、監査会の充実

理事会	令和４年 ５月 16 日	①評議員選任・解任委員の選任について ②令和４年度第１回評議員会の開催日について ③評議員選任候補者の推薦について
	令和４年 ６月 13 日	・放棄した債権の報告 ①令和３年度事業報告及び決算の承認について ②令和３年度会計監査報告について
評議員会	令和４年 ６月 24 日	・放棄した債権の報告 ①令和３年度事業報告及び決算の承認について ②令和３年度会計監査報告について
監査会	令和４年　５月 23 日	令和３年度決算監査
	令和４年 11 月 17 日	令和４年度中間監査
理事会	令和５年　２月　６日	・中間監査結果報告 ①　給与規程の一部改正について ②　評議員選任候補者の推薦について ③　令和４年度第２回評議員会の開催日について
	令和５年 ３月 ３日	①　令和５年度事業計画(案)について ②　令和５年度資金収支予算(案)について
評議員会	令和５年 ３月 20 日	①　給与規程の一部改正について ②　令和５年度事業計画(案)について ③　令和５年度資金収支予算(案)について ④　理事の解任及び選任について

2　財政基盤のため、自主財源の確保、拡充

（１）　会員会費　⇒町社協独自事業に活用

（弁護士相談会・除雪費助成事業・健康長寿いも煮会・地区民生児童委員活動助成・地域配分事業）

	R3 年度	R4 年度
一般会費：	3,168 口　1,584,000 円(81 地区)	3,159 口　1,579,500 円(81 地区)
団体会費：	8 口　80,000 円	11 口　110,000 円

（２）寄付額の確保　⇒町社協独自事業に活用（弁護士相談会・除雪費助成事業等）

	R3 年度	R4 年度
ご遺志：	87 件　1,200,000 円	98 件　1,280,000 円
篤志寄付：	10 件　829,131 円	8 件　589,842 円

3　社協の認知度を高めるための周知

（１）社協だより・町広報誌ページの購入積極的な PR に関すること　**＜新規1＞**

・社協だより…紙面見直し（事業と決算報告、新規事業紹介、成年後見の情報提供を初めて行った。）

また、社協だよりに有料広告収入を採用　年３回発行（ｶﾗｰ2回/ﾓﾉｸﾛ1回）

・町広報誌等…坂下コミセン（虹の架け橋）で社協紹介を定期的に行った

Ⅱ　関係機関、関係団体との連携

1　町、区長・自治会長、民生児童委員･･･と連携した福祉活動の推進

（1）共同募金、歳末たすけあい運動意識の昂揚；10/1～実施

使われ方：福島県共同募金会に全額送金（県内福祉事業やコロナ禍の活動支援事業、助成事業等）
福島県共同募金会より一部助成（弁護士相談会・クリスマス宅配サービス事業・除雪費助成事業・健康長寿いも煮会・地区サロン助成・地域配分事業・社協通信の発行）

	R3 年度	R4 年度	
各地区：79 地区	1,950,165 円	78 地区	1,884,760 円
街　頭：実施せず	0 円	1 回	22,030 円
職　域：関係機関等	42,440 円		26,853 円
法　人：企業募金箱		4 件(新規)	46,548 円
歳　末：57 件	575,630 円	71 件	674,863 円
計	2,568,235 円	計	2,665,054 円

（2）日赤社資募金増強運動の促進

	R3 年度	R4 年度	
各地区：79 地区	1,605,800 円	78 地区	1,609,150 円
個　人：　2 名	130,000 円		0 円
義援金：1 団体	34,000 円(R3.7 月大雨災害)		0 円
計	1,769,800 円	計	1,609,150 円

使われ方：日赤福島県支部に全額送金
（災害救護や地域包括ケアの推進・社会福祉施設の安心安全な運営・地域医療や新型コロナへの対応・血液製剤の安定供給等）

（3）福祉関連施設整備助成事業（社協独自事業）　1 地区　柳町地区　27,500 円（空気清浄機）

Ⅲ　「支え合いの地域づくり」の推進

1　包括的支援事業（社会保障充実分）（町受託事業）

①　生活支援体制整備事業

・地域資源一覧表の作成(R4.10 月)
・地域づくり講演会の実施(川西地区)
・お宝発表会の実施
・サロン通信の発行 1 回（全戸配布）
・地区交流サロンへの支援（新規立ち上げサロン 2 件）
　地区サロン数）坂下 4 件、若宮 4 件、金上 1 件、川西 1 件、八幡 2 件、高寺 1 件
・サロンへの送迎支援(全 4 回/延べ 13 名)

②　認知症総合支援事業

・認知症カフェの開催：8 回開催(毎月第 2 火曜)
・ばんげワンワン見守り隊：8/31 出発式を TV 取材等周知できた。(現在 10 名) ＜実施＞
・「チームオレンジ」：R4 年度オレンジコーディネーター研修受講 3 名× 1 回受講。＜実施＞
・認知症サポーター養成講座：コロナ禍において数年ぶりに実施　2 回(36 名)
・一人歩きリスト運用・一人歩き高齢者向けグッズの作成(現在 8 名)

③　在宅医療・介護連携推進事業

・世話人会の開催：5 回
・多職種連携セミナーの開催：2 回(５０名)
・在宅医療・介護のシンポジウムの開催：初めての開催(72 名)
・DS・小規模多機能連絡会 4 回、GH・小規模多機能連絡会 3 回、居宅管理者会 3 回
　介護事業所の状況等を考慮し積極的に ZOOM 等オンラインを用いて開催した。

2　社会福祉事業（町受託事業）

①　車両運行業務：利用日数 34 日　利用人数 775 人　走行距離 4,178 ㎞

②　民生児童委員協議会事務局：役員会 11 回、
視察研修（原発被災地視察）6/30～7/1、全体研修(成年後見人制度)10/17
12/1 一斉改選、新任研修会 12/24

③　戦没者追悼式の開催 ⇒コロナ禍のため中止

④　敬老会の開催 ⇒コロナ禍のため中止

⑤　保健福祉センター利用者；延べ 552 回 2,040 名
金銀交流サロン利用者：延べ 117 回 延べ 602 名

3　当事者の社会参加の推進

（1）福祉団体などへの支援　4 団体

Ⅳ　地域福祉活動の推進

1　ボランティアセンター事業

（1）各種研修会及びボランティアフェスティバル等への参加 ⇒実績なし（コロナ禍のため）

（2）ボランティア派遣事業の推進：おはなしボラ 60 件、学習ボラ 5 回

（3）災害時のボランティア活動の対応推進⇒県社協担当者会議研修 2 名参加。

2　貸出事業

（1）地域活動物品貸与事業

＜ 貸与物品名＞	貸出件数	延日数	保有台数
ワンタッチテント（大）	12	87	5
ワンタッチテント（小）	7	34	2
そば打ちセット	0	0	2
大鍋・バーナーセット	1	4	4
テーブル	1	4	10

（2）福祉バス及びワゴン車の利用の推進

①　福祉バス（マイクロバス）の貸与　⇒Ⅲ-2-①社会福祉事業車両運行業務に記載

②　ワゴン車活用（買い物ツアーなど）の検討　**＜新規3＞**

・コミセン開催の事業に対し送迎を行った。(4回　延べ 13 名)

・送迎のみではタクシー業務的になる指摘もあり今後は買い物などの検討をする。

3-1　高齢者福祉事業(町受託事業)

（1）寝具乾燥消毒サービス事業　　利用実績）　16 件

（2）在宅高齢者軽度生活援助事業　　利用実績）　1 件

（3）緊急通報システム　　利用実績）　アイネット 19 件　アルソック 14 件

（4）訪問給食事業　　利用実績）　延べ 1,243 件

（5）在宅介護者援護事業の実施(ベッド・車イス等の貸与)

＜ 貸与物品 ＞	貸出数	返却数	貸出中	在庫台数
ベッド	1 台	3 台	7 台	3 台
車イス	5 台	4 台	4 台	4 台
歩行器	0 台	0 台	0 台	1 台
シルバーカー	0 台	0 台	0 台	2 台

（6）高齢者にやさしい手順の導入　**＜新規4＞**

・年度末に新たな規定を整備したが、再度その内容で事業を実施できるのか町と協議しながら具体的に検討していく。

3 - 2 高齢者福祉事業(社協独自事業)
（1）健康長寿いも煮会　⇒開催日時　11 月 25 日(金)実施　274 世帯へ配布
（2）クリスマス宅配サービス事業　⇒実施日時　12 月 23 日(金)実施　171 世帯へ配布
（3）除雪費助成事業　⇒実施日時　12 月～3 月実施　延べ 20 回　助成額 64,845 円

4　生活支援体制整備事業（町受託事業）
（1）生活支援コーディネーター事業
①見守り支え合う地域づくりの創出　⇒Ⅲ-1-①生活支援体制整備事業に記載
②生活課題の検討をもとにした解決方法の創出　**＜新規2＞**
・寄付物品手渡しまでの仕組みづくりを行った(助け合わネット)
・フードバンクや寄付物品を HP や広報を使用し周知を行った。
・社協の PR も兼ねて出前講座等の一覧表を作成し周知を行う。
・問題点…ハツラツ教室から地域への移行(サロン等)における支援について次年度再検討する。
（2）地域づくりや生活支援サービス創出
①地区交流サロンへの支援　講師派遣　15 件**＜R6 より自主活動へ移行する＞**
②健康マージャン教室の支援　5 月～9 月全 8 回実施　参加者 28 名　**＜（上に同じ）　＞**

5　基金の造成及び運用
（1）　基金運営委員会の開催　令和 5 年 2 月 13 日開催
（2）社会福祉基金の運用
令和 4 年度基金積立額　1,870,503 円
（内訳　ご遺志：98 件/ 1,280,000 円, 篤志寄付：8 件/ 589,842 円,利息：661 円）

令和 4 年度取崩額　0 円
令和 4 年度末基金額　35,562,290 円

（3）高橋勝明は～とふる基金の活用
令和 4 年度取崩額　（除雪機 1 台）　790,020 円
令和 4 年度末基金額　82,979,980 円

Ⅴ　「伴走型の個別支援」の充実

1　相談体制の確立
（1）　心配ごと相談所　（相談員 1 名、開設回数 6 回、相談件数 27 件）

（2）　総合福祉相談事業
①　緊急的支援・物品等支援
・緊急的支援（食糧支援）　79 件
・物品等支援(家電製品等)　6 件

②　食糧・物品寄付（上記(2)-①等に使用するための寄付）
・フードバンク(食料寄付)　20 件
内訳）民間事業所等による提供　10 件(ブイチェーン、COOP あいづ、アラジン、県社協)
個人による提供　10 件

・物品寄付　4 件
内訳）個人による提供　4 件(個人、民生委員、社協職員)

③　相談窓口の常設により幅広く相談に応じる　**＜新規5＞**

・担当以外の職員が対応した際でも、統一した説明が出来るようにフローチャートを作成予定。

「断らない相談」を目指し、社協で対応できない場合は関係機関へつなげるように役場内の担当業務についても理解を深める。

④　法人後見制度導入の調査・研究　**＜新規6＞**

・法人後見だけでなく、権利擁護に関わる活動について、他の地域で行っていることを、今までの研修資料やネット上、雑誌等から情報収集を行い、共有した。法人後見を導入する前の段階でもさまざまな課題があることが確認できたため、今後の取り組みについて検討していきたい。

（３）　日常生活自立支援事業の推進

①あんしんサポート事業：　利用者４名　生活支援員３名

２　生活支援体制の確立

（１）貸付事業

①　生活福祉資金貸付事業⇒総額 4,205,000 円

（内訳；緊急小口資金５件、教育支援資金２件）

②　コロナ特例貸付⇒総額 4,250,000 円

（内訳：緊急小口資金３件、総合支援資金８件）

（２）生活援助資金、高額療養費貸の貸付

・生活援助資金　　０件

・高額療養費貸付　　１件　130,050 円

Ⅵ　地域支援事業の推進

１　地域包括支援センター事業（町受託事業）

①　相談件数 1,328 件(図①)　：医療機関や民生委員との連携を密に情報収集を行う。

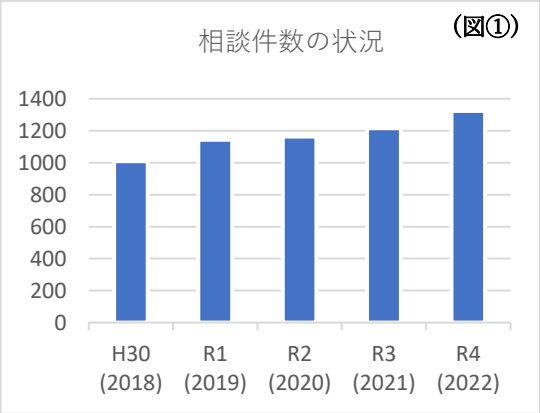
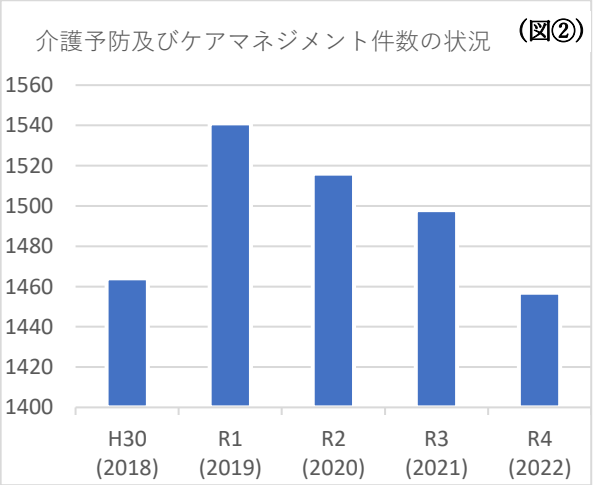
内訳)介護保険 41%　実態把握 28%　医療 8%　精神機能 6%　福祉用具 3%　その他１４％

②　介護予防ケアマネジメント事業　：ハツラツ教室利用見込者の選定等。

③　後見人制度利用への支援１件（個別会議１回）

④　支援困難ケース１件（個別会議１回）虐待ケース対応２件（個別会議２回）

⑤　地域ケア会議の開催　12 回

⑥　介護予防及びマネジメント件数　1,457 件(図②)

内訳)介護予防マネジメント件数 51%(740 件)　予防支援件数 49%(717 件)